

学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立香々地中学校

⑰ 校内研修などによる授業改善

取組の具体①

○継続的な校内研究による授業改善

・「知識・技能」の定着と「思考力・判断力・表現力」の向上

令和7年度「自他を認め、学び合い高め合う生徒の育成～生徒指導の三機能を生かした授業づくりを通して～」令和8年度「他者と関わりを通し、自分の考えを練り、表現できる生徒の育成～意見交流の場の工夫を通して～」のテーマのもと、自分の意見を持ち、交流を通して、考えを広げたり深めたりする授業実践を積み上げてきた。また、今年度は、自分の考えを的確に相手に伝えることと、伝え合う経験を継続的に積み重ねるために、話型を活用し、個の自律的な学びを育成している。

○単元計画の作成(令和7年度から)

・単元計画の生徒との共有

その単元でつける力をつかんで授業に取り組めるようにした。単元を見通して、学習課題やめあて等をつかみ、学習過程の工夫によって、主体的に学ぶ姿勢につなげるようにしている。「ゴール」を意識させ、「何ができるようになればよいのか」「どういう過程で学んでいくか」



Program2 単元計画	
単元目標	小さいころの思い出を〇〇先生に伝えることができる。
scene1	自分が得意だと思うことを友達に伝えよう。
	振り返り 今日の1文
Part1	アーニャは友成さんがどんな人だと思っているか会話文から読み取ろう。
	振り返り 今日の1文
scene2	小さいころしていたことについて友達に伝えよう。
	振り返り 今日の1文

取組の具体②

○主体的に安心して学びに向かうための基盤づくり

・「人間関係づくりプログラム」の定期的な実施

全職員で学年を超えて意見交流する活動を多く取り入れ、連帯意識の醸成にも繋がっている。

・「授業目標」の設定

学年で、新学期当初に、学習集団としての目標を設定した。授業に臨む意識を高めることに繋がっている。

・「めあて」「ふりかえり」「課題」「まとめ」の適切な設定

単元計画をもとに板書(スクリーン)に位置づけ、授業を展開してきた。「まとめ」や「ふりかえり」は文章記述を中心とし、学んだことや、キーワードなどを参考に、自分の言葉で整理させるようにしている。

・「思考・判断・表現力を向上させるICT機器の活用」

タブレット端末で小グループ活動の工夫を行い、意見交換や好作品の共有など短時間で多くの情報を効果的に扱うことが、思考・判断・表現力の向上に繋がっている。

